

4月10日、11日と苗植えをしてから、7日から10日ごとに畑に行って草刈、防除をしました。しかし、10日間位空いてしまうと、6月の梅雨の時期は、ぶどう苗もよく成長したのですが、草の伸びるのも早く、あっという間に20センチくらい伸びてしまいます。そうすると1反ほどの畑でも、一日では「草刈マソオ君」で頑張っても全て刈り込むことができません。取り残されたところなどはブドウの背丈ほどになってしまいます。今回は少々疲れ気味の私の報告です。



★左の写真は「和」の畑とは関係ありません。私の住む大森のマンションのバルコニーで育てている「甲斐ノワール」です。

隣にもう一本あり、20房ほどの実がついています。

夏過ぎには葡萄酒ができるかも？

★4月26日 草刈りのあと萌芽直前の防除をしました。

草刈というより、苗木のあたりに生えてきた草むしりです。

また今回は、苗植えをしてから初めての防除です。殺菌、殺虫材を決められた量で希釈し噴霧します。まだ木が小さなので噴霧する量は約60ℓです。今日は、ベンレートと石灰硫黄合剤を噴霧します。(使用する農薬などは農協から指導を受けます。私は直接指導を受けてませんが、隣で昨年からぶどう栽培をしている地主の児玉様に教えていただいています)

手動の噴霧器に10ℓほどの薬剤入れて背負い、ポンプを動かしながら噴霧します。

★5月17日 草刈り

苗植えをしてから1ヶ月ほど経ちました。結構草が伸びてきます。半日ほど草刈り機で作業しましたが全て刈ることができませんでした。肩と腰が痛くなってきました。

特に苗木の周りに生えている草を注意深くクワで取り除きます。苗木の周りの草を取り除いておかないと、草に取り付く蛾の幼虫が苗木に移りやすいからです。

少しズルをして、草刈り機で苗木の周りの草を取ろうとして、草刈の歯が跳ねて、一本ぶどうの苗木を吹っ飛ばしてしまいました。

★5月28日 草刈り

前回やり残したところの草刈りで終了と思っていましたが、前回刈ったところも既に15センチ位伸びてきてます。

スギナという草が一面に生えてきてます。酸性土壌に生えやすいということで石灰を入れることにしました。やれやれ・・・

★6月5、6日 草刈り

苗木の周りは気にしていたのですが、畝の中の草の伸びが気になります。畝の中とか隣の畑の境が草ボウボウになってきてます。

★6月13日 第2回目の防除

今日は、2-2式ボルドーを噴霧します。量は60ℓです。これは硫酸銅と生石灰を希釈したものです。聞いたところによる銅の成分がブドウの大敵であるベト病によく効くということです。

昔、銅がそばにあるぶどうの木は病気ならないことから発見されたと言っていました。

★6月24、25日 草刈り

草刈が追いつきません。

★7月4日 第3回目の防除

今日は、ホライズン DF と劇薬（ダイアジノン）を希釈して噴霧します。量は60ℓです。やはりぶどうの病気を防ぐためです。

8月中までに、あと3回ほどの防除が必要です

★7月12日 草刈り

畝の中の草の伸びが気になります。また、苗木の周りも草が結構伸びてきてます。

畑の周りも30cm以上は伸びています。草刈の遅れが目についてきてます。限界かな！



★7月22日、24日 写真は畑の様子です。ブドウの木の周りは草ボウボウ！次の3枚の写真も同じです。

一番成長しているブドウの木は背の丈ほどもあります。

ブドウの遠くに見える山がハヶ岳連峰です。

草の成長は早いです。防除意外にも1週間から10日ほどごとに畑に通って草取りをしているのですが、1週間以上何もしないと草ボウボウになってしまいます。草刈りが追いつきません。

草刈り機とクワで除草するには限界を感じてきました。

耕運機で根ごと掻いて根絶やしにすれば、草が生えてくるのも少し遅くなると言われたので、今日は耕運機を購入しました。





しかし、耕運機を使うには、余りにも草が長く伸ばしてしまったので、機械の歯に草が絡んでしまい、前に進みません。

やはり、22日は一日草刈りをしなければならぬことになりました。

でも今日はとても暑いです。体感温度 35° 以上！、とても作業が進みません。

熱中症にかかってもいけないと、車の中で涼を取りながら作業しました。



次の日に耕運機を動かし、草はほぼ根絶やしにしました。畑はだいぶ綺麗になりました。

たいへん疲れしました。ビールが飲みたい一存で直ぐ引き上げてしまい、綺麗になった畑の写真は撮り忘れてしまいました。